



### 「はなむけの言葉」



3月3日(金)に「6年生を送る会」が行われました。卒業を控えた6年生に、1～5年生が心のもった歌や出し物を贈りました。今年の卒業式もコロナ禍で、在校生は参列できないので、このときが直接みんなで卒業生へのお祝いの言葉を伝える最後の機会となりました。

ところで、旅立つ人に贈る「はなむけ」という言葉があります。漢字で書くと「花むけ」のようなイメージですが、本当は「餞」という字になります。

その昔、自動車も電車もなく「馬」が主要な交通手段だった頃のことです。これから旅に出る人を見送るときに、手綱(たづな)を引いて、出発する方向に馬の鼻先を向けてあげたことが、この言葉の元になっています。つまり「花むけ」ではなく「鼻向け」だったんですね。昔は遠くへ旅に出るということは、いつどこで死んでしまうかわからない命がけのものでした。もしかしたら二度と会うことができない人との別れを惜しむ場面で、この「はなむけ」が行われました。

現代においても「はなむけの言葉」は新しい生活に向かう人に対して、残されて見送る人から贈るものです。一緒に旅立つ人や、これからも毎日生活を共にする家族から贈るものではありません。また、年上や目上の人から旅立つ若い人に向けて贈られるものとなっています。つまり卒業する6年生にはなむけの言葉を贈るのは、三和小学校の先生、特に担任の先生ではないでしょうか。

3月20日の卒業式の日、6年生の担任の先生から、愛情いっぱい「はなむけの言葉」が贈られることでしょう。

### 大なわ大会

2月17日(金)の業前の時間に、縄跳び大会が行われました。これまで朝のさわやか縄跳びの時間や体育の授業等で、各学級で取り組んできました。長縄を8の字で並んでどんどん跳び、3分間の制限時間で何人跳べたかを競いました。

結果、優勝は5年2組Bチームの249回でした。よく頑張りました。

来年もまた新しい学級で、仲良く楽しく競い合うことができればと思います。



### 校内作品展



今年度最後の授業参観があった2月14日～16日の間、本校体育館で全学年による図画工作の作品展示を行いました。絵画作品や立体造形など、各学年とも力作が並びました。

表現活動においては、でき上がった作品も大切ですが、制作途中で周りの人(特に大人)がどう声をかけ、どう関わるかが、感性豊かに成長していく子どもたちにとって重要となります。

家庭でも学校でも、いろんな場面で素敵な創造活動の機会が増えてほしいと願います。

### 図書ボランティア

本校には19名の「図書ボランティア」の方々がおられます。卒業生の保護者の方であったり地域の方であったり、年間通じて活動いただいています。

三和小学校の図書室には、各教室前に並べているものも含めて、約10000冊の本があります。子どもたちが熱心に本を読めば読むほど、本も傷んだり汚れたりしてきます。それを修理したりきれいにしたりしてくださっているのが図書ボランティアの方です。

この日もいろいろな道具を使いながら、手作業で一冊ずついねいに修理をしていただきました。是非みんなで本を大切にしながら、しっかりたくさん読んでくださいね。

